

# 公共工事における グリーン調達の推進について

国土交通省大臣官房技術調査課 建設コスト管理企画室

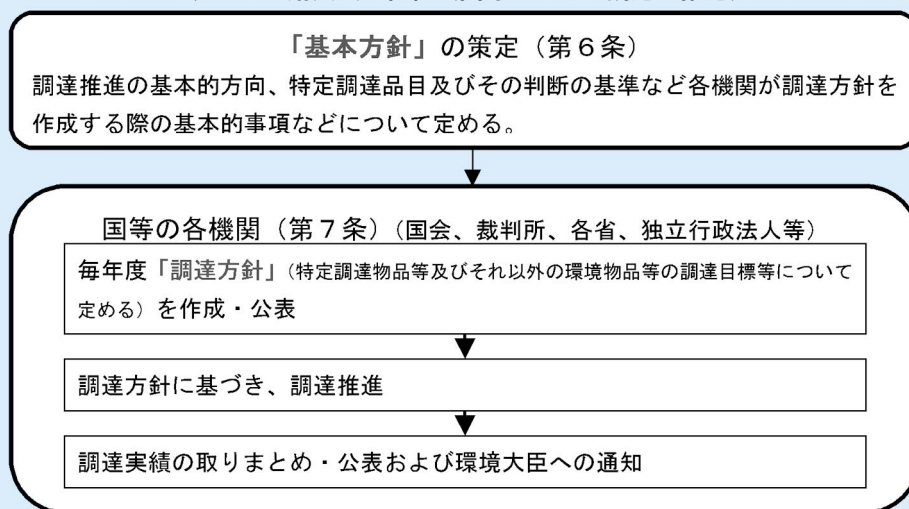
のざき のりゆき  
課長補佐 野崎 教之

「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（以下、グリーン購入法という）が平成13年度から全面施行され、今年度は5年目になります。11品目から始まった公共工事に係る特定調達品目は現在55品目まで増え、またその調達実績も年々増加するなど、この5年間で公共工事におけるグリーン調達の推進の取り組みは定着し、一定の成果を得ています。これまでの公共工事におけるグリーン調達の推進の取り組みを概観するとともに、今後の取り組みについて紹介します。

## 1. グリーン購入法の概要

地球温暖化問題や廃棄物問題などの今日の環境問題の解決には、経済社会のあり方そのものを環境負荷の少ない持続的発展が可能なものに変革していく必要があります。そのためグリーン購入法は、環境物品等（環境負荷低減に資する原材料、部品、製品および役務）への需要の転換を促進す

### グリーン購入法の仕組（国等における調達の推進）



図－1 グリーン調達の仕組み

（注） 特定調達品目：国等が重点的に調達を推進すべき環境物品等の種類  
特定調達物品等：特定調達品目の判断の基準を満たす物品等

ることにより、持続的発展が可能な社会の構築を図ることを目的としています。

環境物品等の優先的調達、それらの市場を形成することにより、環境物品等の研究・開発を促し、それがさらなる環境物品等の市場の拡大に繋がるという波及的な効果を期待するものです。国等におけるグリーン調達の仕組みは図—1のとおりです。

## 2. これまでの取り組み

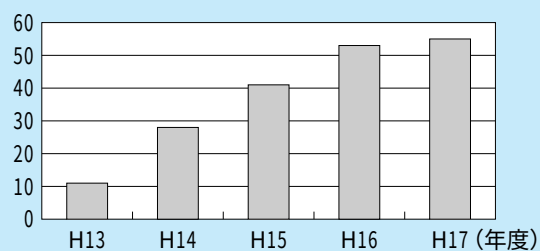
公共工事は政府調達の中でも金額が大きく、また国等の取り組みが地方公共団体や民間事業者の取り組みを促すことが期待されることから、公共工事でグリーン調達を推進する効果は大きいと考えられます。このため、環境負荷の低減に資する公共工事を役務に係る特定調達品目に含め、公共工事においても積極的にグリーン調達を推進していくこととしています。

### (1) 特定調達品目の検討

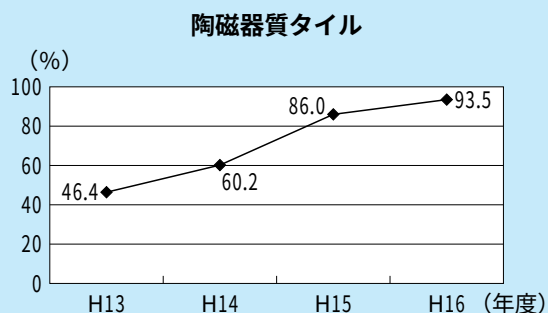
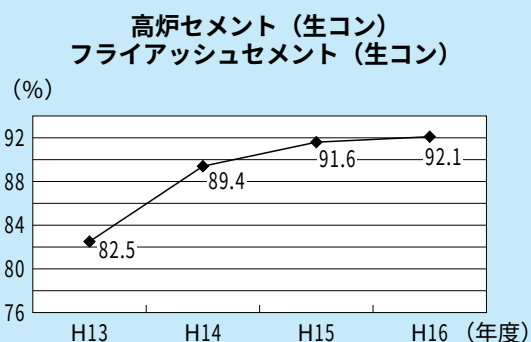
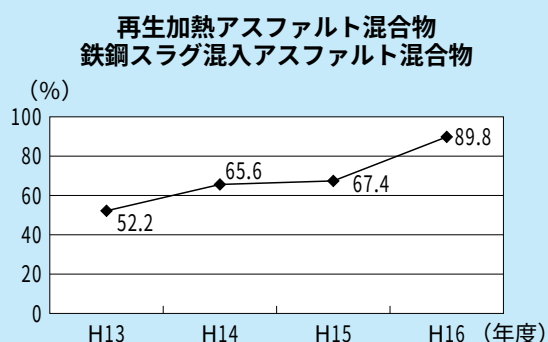
グリーン購入法が全面施行になった平成13年度の時点では、公共工事に係る特定調達品目は再生骨材、高炉セメント等計11品目でした。以降、毎年、特定調達品目の追加を行い、現在では55品目にまで増加しています（図—2参照）。

特定調達品目およびその判断の基準等は、特定調達物品等の開発・普及の状況、科学的知見の充実等に応じて適宜見直しを行うこととしており、毎年6月頃に、特定調達品目の追加・見直しの参考とするため、提案の募集を行っています。

グリーン購入法は国等が特定調達物品を率先して調達を行い、それを呼び水として普及を図るものであることから、特定調達品目は国等で調達が行われるもので、かつ普及の可能性のあるものが対象となります。また、公共工事については、その目的となる工作物が、国民の生命、生活に直接的に関連し、長期にわたる安全性や機能が確保されることが必要であるため、公共工事に係る特定調達品目の検討にあたっては、環境負荷低減効果



図—2 公共工事に係る特定調達品目数の推移



図—3 国土交通省における公共工事に係る特定調達品目の調達実績の推移の事例

が認められるものであるほか、事業毎の特性を踏まえて、必要とされる強度や耐久性、機能を備えていることについて、特に留意する必要があります。

特定調達品目の提案は上記の考え方に基づいて検討を行い、特定調達品目の追加・見直しの参考にするとともに、特定調達品目に至らなかった提案については、今後の提案の参考にさせていただくため課題等を含め検討結果を提案者に回答しています。また、提案の中で継続検討を行う必要があると判断したものについては、特定調達品目候補（ロングリスト）として整理し、提案者の了解のうえ公表しています。

このように広く一般から提案を求めながら、特定調達品目の追加・見直しを継続的に行ってきたことにより、公共工事に係る特定調達品目の充実が図られてきたと考えています。

## (2) 調達実績

国土交通省における公共工事に係る特定調達品目の調達実績の推移の事例を図一3に示します。一般的に公共工事における特定調達物品等の調達率（調達総量に対する判断の基準を満足する品目の調達量の割合）は平成13年度から継続的に伸びてきており、大部分の品目において90%以上となるなど高い調達率となっており、公共工事におけるグリーン調達の推進が進んでいます。

## 3. 今後の取り組み

これまで述べてきたとおり、公共工事におけるグリーン調達の取り組みの成果は確実に伸びてきています。しかしながら今日の環境問題は、地球温暖化問題や廃棄物問題に見られるように、国民一人一人の日常の行動や通常の企業活動による環境負荷があまりにも大きくなっていることに基づくもので、持続可能な社会への変革の取り組みをさらに進めていく必要があります。政府が率先して環境物品等の調達を行い、それを呼び水として、社会全体への普及を図るグリーン調達の取り

組みはさらなる推進が求められています。

例えば、地球温暖化問題については、わが国では京都議定書を2002年6月に締結し、温室効果ガスの総排出量を2008年から2012年の間に1990年と比べて6%削減するという目標の達成のために地球温暖化対策の取り組みを進めているところですが、2004年度の温室効果ガスの総排出量は13億2,900万tであり、前年度と比べると0.8%減少しているものの、1990年比では7.4%上まわっており、さらなる対策の推進が求められています。

また、廃棄物問題については、近年、排出量の減少は進んでおらず、リデュース（発生抑制）、リユース（再使用）、リサイクル（再生利用）という、いわゆる「3R」の普及を推進することが喫緊の課題となっています。リサイクルを進めるためには、回収を確実に行うだけでなく、再生品の需要を確保することが重要になります。公共工事は、資材を大量に使用するという特性からその需要先として期待されています。

建設副産物対策については、平成14年度で再生資源化率はコンクリート塊が98%、アスファルト・コンクリート塊が99%となっており、これらについてはリサイクルが進んでいるものの、建設汚泥の再資源率は45%にとどまっています。建設副産物の再生利用を促進するためには、公共工事で率先して再生資源の利用や建設副産物の再資源化施設等への搬出の推進を図る必要があります。

## (1) 特定調達品目の検討にあたっての評価基準の検討

公共工事における主要な資材等の品目については、すでに特定調達品目に指定してグリーン調達の推進を行っているところです。しかしさらにグリーン調達を推進するため今後も特定調達品目の追加を行っていくには、特定調達品目の検討にあたっての評価基準を整備する必要があります。

国土技術総合政策研究所では、「グリーン購入法の公共工事の技術審査に関わる運用方針検討委員会」を平成15年度から設置し、土木分野の公共工事におけるグリーン調達の技術評価基準について検討しています。これは特定調達品目の追加・

見直しの提案品目について技術的な評価を行うための基準であり、有識者の意見を踏まえながら、評価基準の明確化の検討を行っています。評価基準を明確にすることで、提案者に対して検討過程の透明性や評価結果についての説明性が高められるとともに、新たな提案を促すことが期待されます。評価基準案については、広く一般からの意見を参考とするため、国土技術総合研究所のホームページにて意見募集を行い、委員会の最終報告書を今年度末にとりまとめる予定です。

#### (2) 特定調達品目の見直し・判断の基準の強化

グリーン調達における環境負荷低減効果を高めるためには、すでに特定調達品目として指定している品目についても、開発・普及の状況に応じて見直しを行っていくことが重要です。例えば、グリーン調達の推進により普及に至った特定調達品目についてはすでに国等で率先して調達を推進する必要はありません。これらの品目については判断の基準を強化し、より環境負荷低減の効果の高いものを特定調達品目に指定していくことにより、継続的に環境負荷の低減を図っていくことが可能となります。判断の基準の強化は特定調達品目の開発状況によるものであり、生産者と連携して検討を進める必要があります。

今年度の特定調達品目の追加・見直しの検討に

あたっては、既存の特定調達品目の見直しを重点的に行うこととして、特定調達品目の業界団体等へのヒヤリング等を行い、普及状況の確認と判断の基準の強化の検討を行ったところです。今後は特定調達品目の見直しを定期的に実施する予定です。

## 4. さいごに

今年度に行った特定調達品目の追加・見直しの検討については、すでに案を作成し、パブリックコメントを実施したところです。今後、パブリックコメントにより得られた意見を踏まえながらとりまとめを行い、平成18年度の調達に向けて基本方針の変更を行う予定です。

公共工事に係る特定調達品目については、「銅スラグを用いたケーソン中詰め材」、「フェロニッケルスラグを用いたケーソン中詰め材」および「ビニル系床材」の3品目の追加、および「環境配慮型道路照明」等12品目の判断の基準の見直しを行う予定であり、今後も引き続き、グリーン調達の取り組みの推進を図り、公共工事における環境負荷低減対策を進めて参りたいと考えています。